ふくし

社協だより
No.96
平成30年1月1日発行

発行／木古内町社会福祉協議会　木古内町字本町150番地１　電話(01392)2-2780　FAX(01392)2-4475

平成29年度 赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございました

10月１日から行われた“赤い羽根共同募金運動”は今年も皆様のご協力により、たくさんの募金が寄せられています。

現在集計作業中のため、広報「ふくし」７月号にて結果をお知らせいたします。

地域の多様な「福祉課題」・「生活課題」を幅広く受け止め、解決につなげる支援や、その仕組みを構築していきたい

社会福祉法人　木古内町社会福祉協議会
会　長　二　戸　伝　次

新年あけまして、おめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、新幹線の開業もめでたく終わり、今、木古内町は飛躍の街として住民がもっとも期待している所であります。

このような状況の中で、福祉の分野は徐々に成果をあげている事はまちがいないと思います。いうまでもなく社協は、住民が考えている「生活課題」や「福祉課題」をどの程度把握しているか、又、調査しているか問われる所であります。

このことは、社協の役割でもあり、使命でもあります。ですから私たち職員は、日々与えられた業務を精一杯取り組んでおります。

中でも「生活支援」の体制や整備をすすめていくためにも、さらに幅広く関係者の協力を得て、ネットワークの強化を図って行きたいと思っております。したがって、スローガンにもかかげている「福祉の町木古内」を益々充実させていくことが大事ではないかと思っております。

このように、「地域福祉」の課題を少しでも改善しながら、目に見える福祉活動に専念して行く所存でございます。

一人の不幸者も見逃さない、又、弱者の生活状況も常に把握して行きたいと思っております。その為には、役職員一丸となって努力して参りたいと思っております。

最後になりますが、皆様にとりまして、本年も最良の年でありますように、ご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ、新年のあいさつと致します。

あけましておめでとうございます
本年もどうぞよろしくお願いいたします

●木古内町社会福祉協議会　役員

会　長	二戸伝次	（自治組織　寿）
副会長	渡辺　悟	（自治組織　佐女川）
理　事	木村由美子	（自治組織　第2朝日）
理　事	岡山　忠	（自治組織　建川）
理　事	大澤富士子	（ボランティアセンター）
理　事	菊池時彦	（老人クラブ連合会）
理　事	羽沢裕一	（保健福祉課長）
監　事	木元　護	（自治組織　下町）
監　事	草嶺清美	（福祉施設恵心園）

他　職員一同

●木古内町社会福祉協議会　評議員

評議員	工藤嗣美	（自治組織　札苅）
評議員	竹田博泰	（自治組織　中央会）
評議員	福嶋克彦	（自治組織　港町）
評議員	鈴木了介	（自治組織　新道）
評議員	佐藤　悟	（自治組織　中野）
評議員	鈴木慎也	（自治組織　緑町）
評議員	谷口光世	（福祉施設恵心園）
評議員	脇本武夫	（民生委員協議会）
評議員	平野美香	（商工会女性部）
評議員	西山迪子	（更生保護女性会）
評議員	澁谷　勝	（教育委員会）

木古内町社協・民協・町連合同研修会

地域住民の福祉活動に携わる関係者が一同に会し、今後の社会福祉活動を更に推進していくための研修を、年に１度開催しています。

今年度は11月10日(水)に木古内町産業会館において、「木古内町生活支援地域支えあい推進協議体について」をテーマに、木古内町保健福祉課包括ケア推進室長　武藤一郎氏が、木古内町の高齢者に関する状況や地域包括ケアシステム、地域支えあい推進協議体について説明を行いました。

その後、木古内町より生活支援コーディネーターを受託している木古内社協から、金谷コーディネーターによる「生活支援コーディネーターについて」の説明を行いました。

渡島管内社会福祉協議会役職員セミナー

12月４日に北斗市総合文化センターかなでーるで開催され、当社協から役員・評議員・職員６名が参加しました。

青森県鰺ヶ沢町社会福祉協議会事務局長　井上雅哉氏による「鰺ヶ沢町社協における総合事業の取り組みについて」の講演があり、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の地域での検討経過や取組状況とともに、現状において見えてきた変化や課題、留意点などについてお話いただきました。

町民健康講座開催

《脳梗塞について》

10月４日(水)に木古内町健康管理センターにて、「渡島医師会・木古内町町民健康講座」を行い、70名の町民が参加されました。

渡島医師会、木古内町民健康づくり推進協議会との共催により、函館脳神経外科病院　脳神経外科診療副部長　森脇寛氏を講師に迎え、「脳梗塞について」をテーマにお話しいただきました。

脳梗塞とはどんな病気なのか、治療や予防・発見に関してわかりやすい説明とともに、脳梗塞の症状を発見するための「両腕を前に出して左右差を見る」などといった簡単な方法などを参加者とともに体験を行いました。

町民文化祭「パネル展」

10月28日(土)・29日(日)に中央公民館にて行われた町民文化祭で、木古内社協ではスポーツセンターで写真パネル展示を行いました。

社協、共同募金委員会、ボランティアセンターなど関係団体が行っている各種の活動について写真で紹介し、社協広報誌「ふくし」のバックナンバーを自由にお持ち帰りできる様に設置させていただきました。

ボランティアスクール（住民福祉の集い）
～「終活」について ～

11月15日(金)に、ボランティアスクール（住民福祉の集い）を開催しました。

知内町社会福祉協議会、木古内町ボランティアセンターとの共催で、木古内・知内の町民を対象に福祉に関する講演などを毎年行っています。

今年は木古内町中央公民館を会場に、函館市にある行政書士小川裕史事務所の小川裕史行政書士を講師に迎え、「終活とエンディングノートの活用」をテーマに、相続の場面で苦労する事、エンディングノートと遺言書の解説などをわかりやすく講話いただきました。

その後、木古内町社協が作成したエンディングノートを使い、小川講師の説明のもとエンディングノートの記入体験を行いました。

28名の参加者は、エンディングノートの記入後の修正についてやエンディングノートと遺言書の違いについて等の質問があがるなど、熱心に耳を傾けていました。

永年の功績に感謝いたします

多年に亘り社会福祉活動へ尽力された事により、以下の方々が表彰をされました。

平成29年度　北海道社会福祉協議会会長表彰

■社会福祉協議会役員功労者
- 二　戸　伝　次　様
- 大　澤　富士子　様
- 福　嶋　克　彦　様

■社会福祉協議会職員功労者
- 木　元　弘　子　様

■民生委員・児童委員功労者
- 加　藤　蓉　子　様

平成29年度　全国社会福祉協議会会長表彰

■社会福祉協議会役員功労者
- 門　間　辰太郎　様

北海道社会福祉協議会会長表彰受賞した５名の方については、12月22日(金)の木古内町社会福祉協議会第４回理事会において表彰伝達式が行われました。

介護予防体操教室 ピンコロ会

地域に定期的な集いの場を提供し、閉じこもり防止や筋力・体力低下の防止、将来の介護リスクを軽減する目的で、モデル地区を対象に月に１度 《ピンコロ会》 を開催しています。

今回は、４月と10月に行っている【生活体力測定】の風景をご紹介します。

【起居能力】

寝ている所から起き上がる、椅子に座ったり立ち上がったり等の動作能力を測定します

【身辺作業能力】

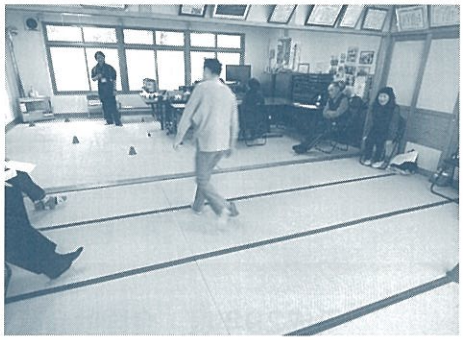
ロープを回すことで、服の脱ぎ着やお風呂の縁をまたぐなどの動作能力を測定します

【手腕作業能力】

ペグを移動するとで、手指を使った調理・裁縫・掃除など家事動作能力を測定します

【歩行能力】

10mの長さをコーンを回りながら歩くことで、ふらつかずに歩行できるか等を測定します



参加者の皆様には、後日測定結果を表にしたものをお渡しして、日常生活の目安に役立てていただいています。

森林浴とお散歩を楽しむ会 in 秋

歩くことで健康と体力・筋力を維持し、いきいきとした毎日を過ごしてもらうことを目的に、「森林浴とお散歩を楽しむ会」を春・秋の年２回開催しています。

この秋は、五稜郭公園での森林浴を、10月23日(月)と24日(火)に行いました。

23日の第１陣は29名、24日の第２陣は25名と計54名もの方にご参加いただき、森林浴と温泉を楽しみました。

23日は台風が迫っていて開催が危ぶまれましたので、公園内の散策はあまりできませんでしたが、参加者の皆様は五稜郭タワーの散策などをして楽しまれました。

ミニサロンを開催しました

社協が受託している「木古内町生活支援地域支えあい推進協議体」のイベント企画のひとつとして、11月に２地域で「ミニサロン」を行いました。

町保健福祉課・包括支援センター、町内会と社協が一緒に企画し、介護相談・健康相談・ミニレク体験・茶話会などで盛り上がりました。

泉沢地域

会場：泉沢生活改善センター

▲町保健師・栄養士・包括支援センター職員の健康相談では血圧測定を行いました

▲社協・町包括支援センター職員による介護相談

▲会場ではそばうち体験とそばの試食も！

▲レク体験や茶話タイムもありました

本町地域

会場：木古内町高齢者交流センター（いさりび団地隣）
※今回は会場周辺の８つ程の町内会を対象地域としました

▲健康相談と介護相談コーナー

▲レク体験では白熱の戦いに！

地域の代表の方とご希望などを相談して開催しています。
今年度中に、開催地域を増やして再度開催予定でおります。
開催地域の皆様にはチラシ等でご連絡しますので、お気軽にご参加ください！

ご厚情を賜りました

10月10日

道南うみ街信用金庫　様

各支店対抗ゴルフ大会を行った際に集まった寄附金の100,000円を、木古内社協へご寄附いただきました。

11月21日

木古内町産業まつり実行委員会　様

今年の産業まつりで行われた、ＳＰセリ市での収益金 20,400円をご寄附いただきました。

11月21日

山形県鶴岡市「ありんこの会」　様

木古内町の姉妹都市山形県鶴岡市の社会福祉協議会職員でつくるボランティアの会「ありんこの会」様から、産業まつりの際に枕30個をご寄贈いただき、この日木古内町大森町長から受け取りました。

皆様からいただきましたご厚情については、木古内の福祉推進のために大切に利用させていただきます

赤い羽根共同募金は木古内に役立てられています

皆様から集まった赤い羽根共同募金は、その約８割が、“じぶんの町をよくする”ために、木古内町共同募金委員会から様々な団体へ助成され、まちの皆様へ還元されています。

たとえば…

◆町内会での、見守り活動や高齢者福祉活動へ助成されています。

◆福祉団体や学校などの活動へ助成されています。
学生のごみ拾いボランティア活動　など

◆社協の福祉事業へ助成されています。

平成29年度は、下記の団体が助成を受けています。

木古内町老人クラブ連合会
精神障害者回復者クラブふきのとうサークル
木古内町子ども会育成連合会
木古内町男女共同参画プラン推進協議会
木古内町心身障害児者福祉協会
木古内つくしんぼの会
木古内町立木古内小学校
下町町内会
新道町内会
木古内町町内会連合協議会

木古内町社会福祉協議会
- 入浴ボランティア事業
- 住民福祉の集い事業
- ボランティアセンター事業
- 広報誌発行事業
- 森林浴とお散歩を楽しむ会事業
- 介護予防体操教室「ピンコロ会」事業
- 健康づくり講演会事業

この広報紙は、赤い羽根共同募金の助成金で発行されています。